

● シュラウドレイヤー構造

走行風を効率的に排出する機能を持たせたシュラウド下部のレイヤー構造は、Hondaのアイデンティティーを主張するとともに、シュラウドとタンクをつなぐ面表現でデザイン上の大きなアクセントとなっています。

**● パーツ配置**

ネイキッドらしく新開発エンジンを魅力的に演出し、エンジンを包み込むようなパーツ配置とすることによって機能部品とボディーパーツの一体感を表現し、車体全体としての塊感をより力強く印象付けています。

**● ハンドル**

ライダービューから力強さを印象付けるフラットタイプのバーハンドルは、跨った瞬間からアグレッシブさと操る楽しさをねらいました。

